

ホールでイベントを行う主催者様へ

令和3年4月23日
北上市文化交流センターさくらホール

新型コロナウイルス感染症対策として、下記を踏まえた計画・運営としていただくよう、ご協力をお願いします。

<参考資料>

劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
(公益社団法人全国公立文化施設協会：令和2年9月18日版)
基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について
(文化庁：令和3年4月23日版)

<ご注意ください>

令和3年4月23日付けの改定内容は、客席収容率及び座席についての項目のみです。
状況によっては、記載内容が変更されることが予想されます。
入場券を作成する前や、チラシ等で広報を開始する前に、直近の情報を、ホールまでお問い合わせいただくよう、お願いいたします。

さくらホールからお願いのポイント

- ・三密（密集・密接・密着）がおきない運営を計画してください。
- ・関わる人すべての連絡先及び、使用場所・着席場所等を把握してください。
- ・消毒・マスク着用をはじめとし、ウイルスの蔓延を防ぐ手立てを講じてください。
- ・緊急事態宣言の発令や、市からの要請など、今後の状況により、突然の休館となる場合があります。そのような主催者側に責任が無く中止となった場合は、通常のルールとは異なる対応をすることがあります。

観客・出演者・運営スタッフ等、すべての人に守ってもらうこと、お願いすること

- ・下記の内容を、観客・出演者・運営スタッフ等、関係するすべての人にチラシやホームページ等で周知してください。
- ・マスク着用、咳エチケット、手洗い、指の消毒を行ってください。
- ・人と人との間隔を確保してください。
- ・来場前に検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は、来場を控えてください。
- ・下記の症状に該当する場合、来場を控えてください。
発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ・下記の条件に該当する場合、来場を控えてください。
新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

出演者・公演関係者の感染防止策

- ・表現上困難な場合を除き原則としてマスク着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔をとるようにしてください。
- ・楽屋等では使い捨ての紙皿やコップ、ペーパータオル等を使用するようにしてください。
- ・機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者での共有を避けてください。
- ・仕込み・リハーサル・撤収では、十分な時間を設定し、密な空間の防止に努めてください。

スタッフの人員について

- ・コロナ対策のための作業が増え、通常よりも多くのスタッフが必要となることが予想されます。人員の適切な配置をお願いします。

<増加が予想される作業内容>

もぎり口の増設・チケットに連絡先が記載されているかの確認・人との距離を保つための整理（入場前・物販・休憩・終演後）・トイレの案内・換気のために扉を開放・消毒・「連絡先提出のお願い」の収集 など

消毒・換気・検温について

- ・ホールでは、1件の利用が終了するごとに、清掃・消毒を行っています。（観客が入れ替わる複数回の上演形式の場合は、上演回ごとに、不特定多数が触れる可能性がある箇所の消毒をお願いします。）
- ・消毒用のアルコール・拭き取りペーパーは、ホールから貸出しすることもできます。
- ・ホール内は、空調システムにより、常時適切な換気を行っております。
- ・必要に応じて、休憩時間に客席の扉を開放し、換気していただいてもかまいません。
- ・もぎり口での検温は、主催者の判断により、主催者が行うこととなります。
- ・施設の入り口に、モニター型体温計を設置しています。入館前にご利用ください。
- ・ホールでは、非接触型体温計を貸出しします。ただし、台数が2台と限られているため、確実にお使いいただけるものではありません。

客席収容率及び座席について ※令和3年4月23日更新

- ・現時点では観客や参加者による大声での歓声、声援がないことを前提としうる催事であれば、収容率の上限は100%になりました。但し、大声での歓声、声援が想定される場合は、収容率が50%以内に制限されます。

※異なるグループまたは個人間では座席を1席空け、同一グループ（5人以内に限る。）内では座席間隔を設けなくても大丈夫です。その場合のみ、収容率50%を超えても可とします。

<大声での歓声・声援等が想定されるもの>

例：ロック・ポップス等のコンサートやライブ
キャラクターショー 親子会公演 等

- ・できるだけ、指定席をお勧めします。
- ・演者からの飛沫が予想される場合（発声するもの・管楽器の演奏等）は、1列目を使用しないことをお勧めします。（舞台から観客の間隔を2m確保）

- ・大ホール利用者の方で、参加者 1,000 名を超える場合は、岩手県に事前相談票を提出願います。※様式はさくらホールホームページにリンクを貼ってあります。
また、県から示された相談の結果について、さくらホールにお知らせください。
- ・ソーシャルディスタンスを示す座席用の用紙が必要な方には、用紙を貸し出します。設置及び撤去は、主催者様が行うこととなります。
- ・感染状況や関係機関の指針により、集客可能人数が増減する場合があります。

入場・場内・休憩・退場で気を付けること

- ・下記に示すような、密集を回避する工夫を検討してください。
- ・余裕を持った入場・退場の時間設定とし、券種やゾーンごとの時間差での入退場、開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。
- ・もぎり口の場所を複数に分ける（1Fと2F、右端と左端等）など、1カ所に集中しないようにしてください。また、入場時のチケット確認（もぎり）を簡略化してください
- ・余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑の緩和に努めてください。
- ・休憩時間は 20 分以上あると安心です。
- ・休憩時間終了予定時刻に、まだトイレにお客様が残っている場合は、すべてのお客様が客席に着くまで、開演を遅らせるなどの配慮をお願いします。
- ・パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避けるようにしてください。ただし、「連絡先提出のお願い」はこの限りではありません。
- ・場内では大声での会話は控えていただくよう、周知してください。

物品販売について

- ・パンフレット等の物販を行う場合、最低 1m（できるだけ 2m を目安に）の間隔を開けて整列していただくようにしてください。
- ・物販に関わる従業員は、マスクの着用と手指消毒を徹底してください。
- ・対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより、購買者との間を遮蔽するようにしてください。
- ・多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないようにしてください。

連絡先の把握について

- ・観客・出演者・運営スタッフ等関係する人すべての氏名・連絡先の把握に努めてください。
- ・来場者の連絡先を収集すること、収集した連絡先は、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供される場合があることをチラシ等に記載し、できるだけ事前に周知してください。
- ・主催者は個人情報保護の観点から、収集した名簿等の管理・保管には、十分な対策を講じてください。
- ・記入は、事前の記入か、自席での記入をお勧めします。記入場所を設置する場合は、筆記用具の消毒等、適切な管理が必要となります。

<連絡先の把握方法：例①指定席の場合>

指定席番号が記入されているチケットの裏側に、氏名・電話番号・居住地を、あらかじめ記入してから来場いただくよう、券面やチラシで呼びかける。

入場時、もぎり口で記載があるか確認しながら回収し、無記入の場合は記入してもらう。

<連絡先の把握方法：例②指定席・自由席共通>

券売時、または入場時に「連絡先提出のお願い」を配布する。

開場・休憩・終演時に、必ず記入し提出してください、とアナウンスで呼びかける。

回収は確実にを行うため、客席扉の内側（客席内）で、1枚ずつ手渡ししてもらう。

<連絡先の把握方法・例③発表会等、関係者のみの催事の場合>

事前にリスト作成が可能な場合は、入場時の記載や収集は不要です。

「連絡先提出のお願い」の例

連絡先のご提出をお願いします

新型コロナウイルスの感染拡大予防対策として、本日の入場者の連絡先の把握をしております。頂いた情報は、保健所等の公的機関から求められた場合にのみ提供するもので、目的以外の用途には使用せず、1ヶ月を過ぎた時点で適切に処分します。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

〇〇〇演奏会 主催者：〇〇〇〇〇〇

座った座席 階 列 番
名 前
住 所 (都道府県・市町村まで)
電話番号①
電話番号②

※確実に連絡が取れるように、電話番号はできるだけ2つご記入ください。